

**製品名: IL-3R $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12556**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL3RA
別名	IL3RA; IL3R; Interleukin-3 receptor subunit alpha; IL-3 receptor subunit alpha; IL-3R subunit alpha; IL-3R-alpha; IL-3RA; CD123
遺伝子 ID	3563.0
SwissProt ID	P26951
免疫原	抗血清はヒト IL3RA の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

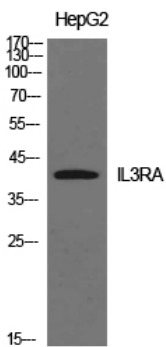
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヘテロ二量体サイトカイン受容体のインターロイキン 3 特異的サブユニットである。この受容体は、インターロイキン 3 (IL3)、コロニー刺激因子 2 (CSF2/GM-CSF)、およびインターロイキン 5 (IL5) の受容体に共通する、リガンド特異的  $\alpha$  サブユニットとシグナル伝達  $\beta$  サブユニットから構成される。このタンパク質の IL3 への結合は  $\beta$  サブユニットに依存する。 $\beta$  サブユニットはリガンド結合によって活性化され、IL3 の生物学的活性に必須である。この遺伝子とコロニー刺激因子 2 受容体  $\alpha$  鎖 (CSF2RA) をコードする遺伝子は、X 染色体または Y 染色体の X-Y 擬似常染色体領域においてサイトカイン受容体遺伝子クラスターを形成する。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2012 年 6 月], ドメイン: ボックス 1 モチーフは JAK との相互作用および / または活性化に必須である。、ドメイン: WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要と考えられる。、機能: これはインターロイキン-3 の受容体である。、その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X 染色体および Y 染色体の擬似常染色体領域 1 (PAR1) に位置する。、類似性: I 型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ 5 サブファミリーに属する。、サブユニット:  $\alpha$  サブユニットと  $\beta$  サブユニットのヘテロ二量体。 $\beta$  サブユニットは IL-3、IL-5、および GM-CSF 受容体に共通である。、

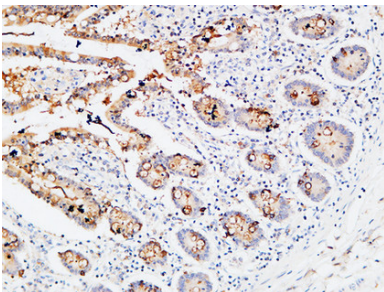
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Jak\_STAT;造血細胞系統;

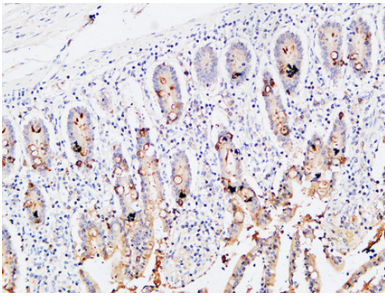
## 画像データ



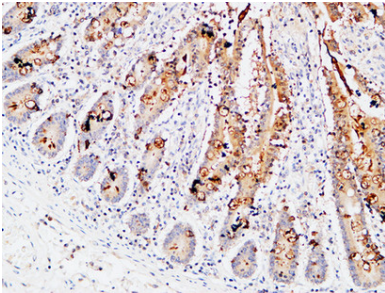
IL-3R $\alpha$  ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



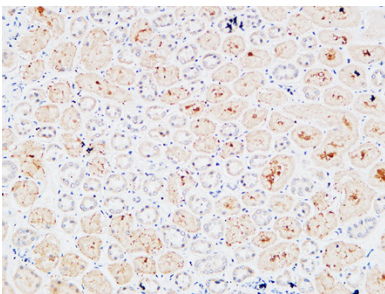
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4 $^{\circ}$ 、一晚)。2、高压高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



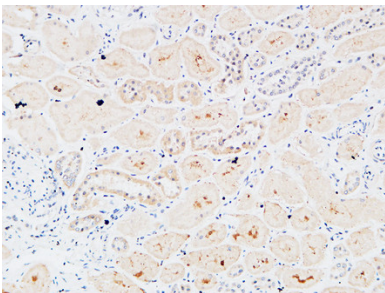
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



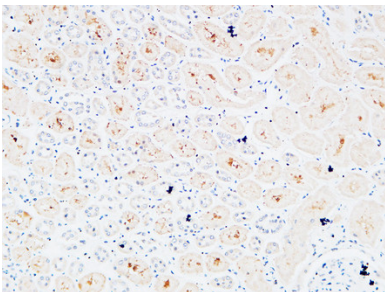
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。